



西彼北小学校だより

かがみやき



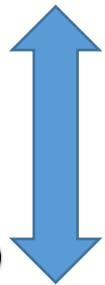
令和5年 8月 9日 (水)
西海市立西彼北小学校
校長 長谷川 文也

平和は一人ひとりの心から

～長崎に生まれた者にとっての使命～

①

$$\frac{88}{196}$$



②

$$\frac{8}{196}$$

さて、左の2つの分数が何を表しているか、おわかりになるでしょうか。(ヒント…分母は世界196か国を表しています)

まず上の分数ですが、これは今日、長崎市で行われる平和祈念式典に参加予定の国の数です。世界中から実に88か国の代表が集い、平和への祈りを捧げます。そう考えると、8月9日は長崎県民の祈りの日であるとともに、世界中の人々が、あらためて平和な世の中をつくることへの誓いを立てる特別な日と言えます。

ただ、このことに反して、昨今報道では毎日のように戦争の様子が映し出されます。それを象徴するのが下の分数です。これは終戦後、78年間に、小さな紛争を含め、他の国と戦争をしたことのない国の数です。たった8か国しかありません。(この中に日本は含まれています)

今、他の国で起こっている戦争がいつまた世界中を巻き込む大きな戦争に発展するかわかりません。そう考えると、強い危機感を抱かざるをえません。被爆地・長崎に生まれた者にとって、平和の大切さを訴え続けること、そして平和の実現のために具体的に行動していくことは大きな使命であると感じます。



平和の原点は、人の痛みがわかる心をもつこと

もう一度、この言葉を胸に刻み、一人ひとりが平和の実現に向け、具体的に行動してほしいと願っています。



「平和のために私たちが参加する方法は無数にあります。」

【2020年 長崎平和宣言文より】

かけがえのない命を守るために

交通事故、熱中症、自然災害、水難事故…。夏休みに入り、残念ながら子どもたちが犠牲になる事件・事故に心が痛みます。今一度、身のまわりで起こるさまざまな危機に鋭いアンテナを張り、たった一つのかげがえのない命を守る努力をしてほしいと願います。そのためにも自転車に乗る際はヘルメット着用にご協力ください。

西彼北小のホームページより

自転車・横断	水の事故	熱中症	台風・豪雨
<ul style="list-style-type: none"> ・自転車に乗る際はヘルメットの着用を! ・横断は必ず止まって右左右の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・必ず大人の人と一緒に ・決められた場所で ・休息をとりながら 	<ul style="list-style-type: none"> ・水分のこまめな補給 ・涼しい場所で ・激しい運動は避ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・天気予報にアンテナをはる ・風雨の強い日は外出を控える

本物は続く 続ければ本物になる

～いつでも どこでも 変わらぬ姿～



はきものは心を映す鏡

左の写真を見てください。これはかつての勤務校で修学旅行に行ったときの食事会場の入り口を写した1枚です。はきものが『ぴしっ』と並んでいます。

この時、引率していた先生方と共にとっても喜び合ったことを覚えています。それは、私たちが「きちんと並べなさい」とは一言も言っていなかったからです。特段指導しなくても、学校や家庭で日常的に行っていることが、当たり前のように、こうした「姿」となって表れたからです。

一事が万事。この写真が象徴するように、心をそろえて過ごした2日間。羽目はずしそうになったらお互いに注意し合ったり、元気のない友達には優しく声をかけたりして、一生懸命支え合う子どもたちの姿が誇らしくさえありました。

さて、夏休みも今日を含めてあと23日となりました。ほぼ折り返し地点です。学校・家庭・地域、どこにおいても「せいひきた」の5つの心を持ち、自制心をもって行動する力を伸ばしていけるよう、温かく見守り、励ましていただけたらと思います。

8・9月の主な行事予定

8/10(木)～8/16(水)	学校閉庁日 ※ 緊急の連絡が必要な場合は、西海市教育委員会(37-0078)または学校代表(090-9584-8507)までお知らせください。
8/27(日)	PTA環境整備作業 8:00～ ※ 天候不良の場合、6:30までに態度決定し、実施の有無を学校安心メールでお知らせします)
9/1(金)	第2学期始業式
9/6(水)	授業参観・学級PTA
9/6(水)～9/8(金)	夏休み作品展

【お知らせ】

- ☆ 全国小学生男子ソフトボール大会にチーム「SAIKAI」の選手として、本校児童4名が参加していましたが、見事日本の栄冠に輝きました。優勝おめでとうございます。
- ☆ 9月7日と9月12日の2日間、アメリカ海軍に在籍している方(3名程度)がボランティアとして子どもたちの登校を見守ってくださる予定です。機会がありましたら、子どもたちのみならず、保護者の皆様もぜひ心の交流を図っていただければと思います。